

首都圏自然歩道

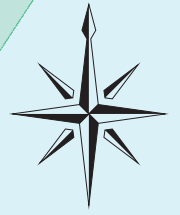
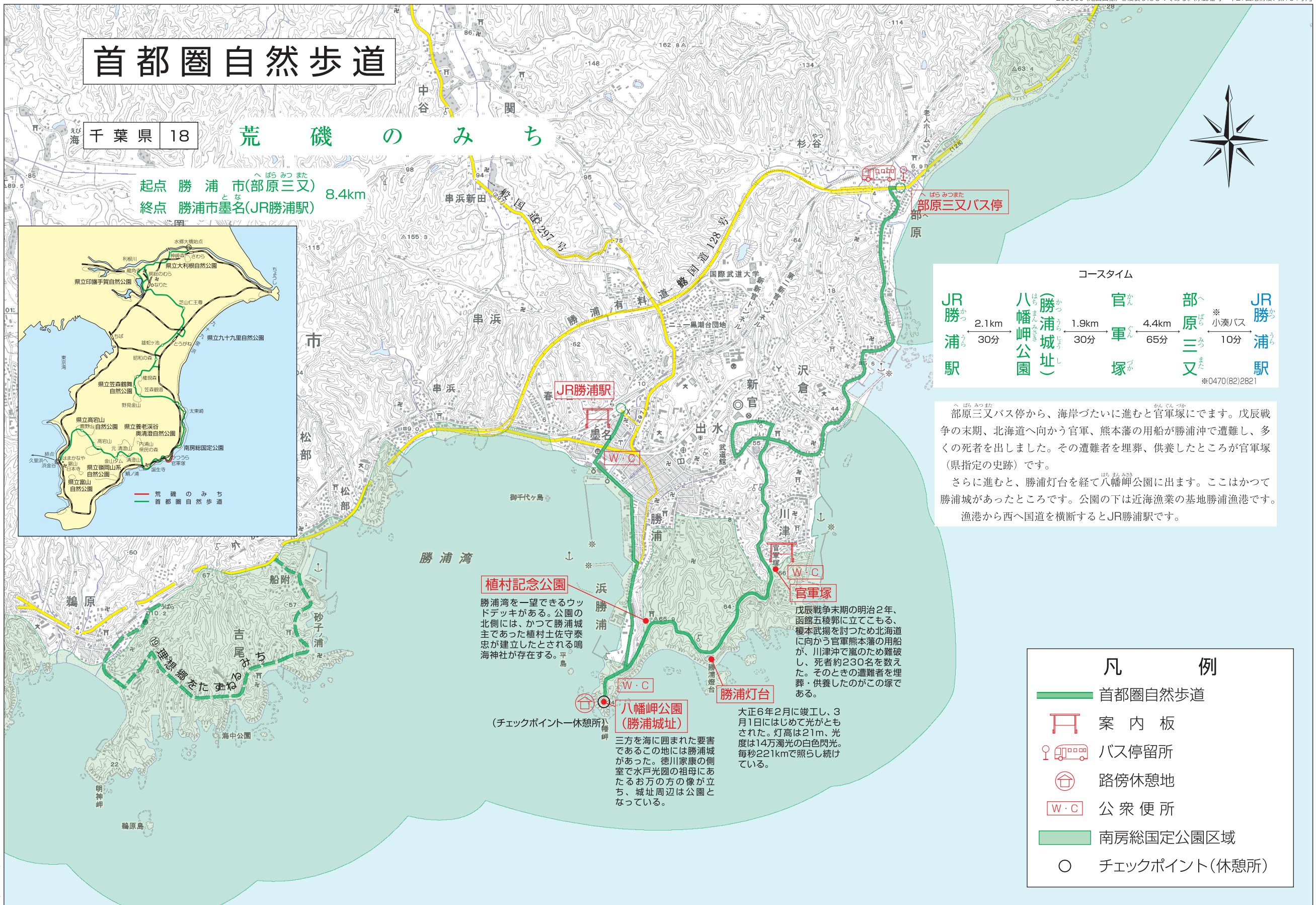
千葉県 18 荒磯のみち

起点 勝浦市(部原三又) 8.4km
終点 勝浦市墨名(JR勝浦駅)



平成二十八年一月(地図中の行政区分・名称が市町村合併等で変更されている場合がございます。ご了承ください。)

千葉県環境生活部自然保護課



コースタイム

JR 勝浦駅	2.1km / 30分	八幡岬公園(勝浦城址)	1.9km / 30分	官軍塚	4.4km / 65分	部原三又	※小湊バス 10分	JR 勝浦駅
※0470(82)2821								

部原三又バス停から、海岸づたいに進むと官軍塚にです。戊辰戦争の末期、北海道へ向かう官軍、熊本藩の用船が勝浦沖で遭難し、多くの死者を出しました。その遭難者を埋葬、供養したところが官軍塚(県指定の史跡)です。

さらに進むと、勝浦灯台を経て八幡岬公園に出ます。ここはかつて勝浦城があったところ。公園の下は近海漁業の基地勝浦漁港です。漁港から西へ国道を横断するとJR勝浦駅です。

- ### 凡例
- 首都圏自然歩道
 - 案内板 案内板
 - バス停留所
 - 休憩地 路傍休憩地
 - W・C 公衆便所
 - 南房総国定公園区域 南房総国定公園区域
 - チェックポイント(休憩所)

植村記念公園
勝浦湾を一望できるウッドデッキがある。公園の北側には、かつて勝浦城主であった植村土佐守泰忠が建立したとされる鳴海神社が存在する。平島

官軍塚
戊辰戦争末期の明治2年、函館五稜郭に立てこもる、榎本武揚を討つため北海道に向かう官軍熊本藩の用船が、川津沖で嵐のため難破し、死者約230名を数えた。そのときの遭難者を埋葬・供養したのがこの塚である。

八幡岬公園(勝浦城址)
三方を海に囲まれた要害であるこの地には勝浦城があった。徳川家康の側室で水戸光圀の祖母にあたるお方の方の像が立ち、城址周辺は公園となっている。

勝浦灯台
大正6年2月に竣工し、3月1日にはじめて光がともされた。灯高は21m、光度は14万燭光の白色閃光。毎秒221kmで照らし続けている。

